

**[年度]** 平成23年度和歌山県農林水産総合技術センター研究成果情報

**[成果情報名]** キヌサヤエンドウ新品種「紀州さや美人」の育成経過と特性

**[要約]** キヌサヤエンドウ新品種「紀州さや美人」を育成した。本品種は本県主要品種である「美笹」より小ほうの発生が少なく、「紀州さや2号」より収量が多い特徴を持つ。

**[キーワード]** キヌサヤエンドウ、紀州さや美人、小ほう、秋まきハウス栽培

**[担当機関名]** 農業試験場暖地園芸センター 育種部 **[連絡先]** 0738-23-4005

**[部会名]** 野菜・花き

**[分類]** 普及

**[背景・ねらい]**

和歌山県では他産地との差別化・収穫の省力化を目的に、キヌサヤエンドウを2莢付きの「アベック莢」として出荷している。「アベック莢」では出荷調製時に果梗に発生する小ほう（ハカマ）を除去する必要があるが、「美笹」は小ほうが発生しやすいため、余分な労力を要する。小ほうの発生が少なく、収量性に優れた品種を育成する。

**[成果の内容・特徴]**

1. 1999年に「紀州さや2号」を種子親、「美笹」を花粉親として交配、2009年まで系統選抜した。2011年3月に品種登録出願、同年6月に出願公表された。
2. 「紀州さや美人」は「美笹」と比較して、小葉が少ない。一方、「紀州さや2号」と比較して、草丈が長い（表1）。
3. 「紀州さや美人」は「美笹」および「紀州さや2号」と比較して、開花始めが早く、初花房節位が低い（表1）。
4. 「紀州さや美人」の総収量は「美笹」と同程度で、「紀州さや2号」より多い（図1）。
5. 「紀州さや美人」は「美笹」と比較して、莢厚が薄い。一方、「紀州さや2号」と比較して、莢長が長く、莢厚が厚く、1莢重が重い（表2）。
6. 「紀州さや美人」の小ほう発生率は、4月までの調査期間を通して「美笹」および「紀州さや2号」よりも低く推移する（図2）。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 「紀州さや美人」は2011年6月に品種登録出願公表されている。
2. 種子の増殖は和歌山県指定の種苗生産業者で行う。
3. 栽培は和歌山県内に限る。

[具体的データ]

表1 「紀州さや美人」の主要な生育特性と収量

品種	茎の太さ <sup>z</sup> (mm)	小葉数 <sup>y</sup> (対)	分枝数 <sup>x</sup> (本)	節間長 <sup>x</sup> (cm)	草丈 <sup>w</sup> (cm)	開花始め (月/日)	初花房節位 (節)	収穫始め (月/日)	初収穫節位 (節)
紀州さや美人	4.6	1.6 b <sup>u</sup>	2.6 a	3.7 a	240.7 a	10/19	14.1	11/5	15.9
美笹	5.3	2.1 a	4.0 a	4.2 a	231.3 ab	10/26	16.1	11/6	16.4
紀州さや2号	4.4	1.8 b	3.5 a	3.8 a	219.5 b	10/29	16.9	11/14	17.5

調査日：<sup>z</sup>2010年12月7日，<sup>y</sup>2010年12月14日，<sup>x</sup>2010年12月15日，<sup>w</sup>2011年1月5日 <sup>v</sup>収穫始めから2011年4月28日まで調査

<sup>u</sup>異なるアルファベット間にTukeyの多重検定において5%水準で有意差あり 測定方法は野菜品種特性分類審査基準（えんどう種）に基づく

注) は種日：2010年9月13日 栽植密度：うね幅：150cm、株間：20cm、1条、1穴5粒まき（2～3本に整理）、主枝一本仕立て  
栽培条件：ガラス温室栽培、最低気温5℃

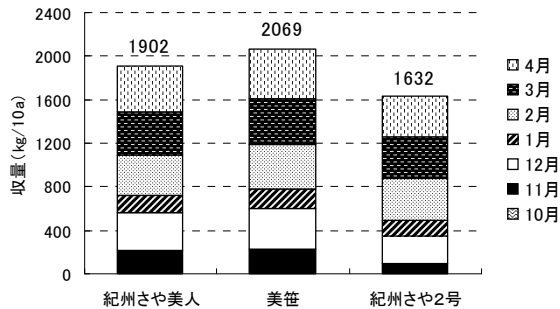


図1 「紀州さや美人」の収量性  
注) 耕種概要は表1と同じ

表2 「紀州さや美人」の莢の特性

品種	莢長 (mm)	莢幅 (mm)	莢厚 (mm)	1莢重 (g)	莢色
紀州さや美人	75.2 a <sup>z</sup>	13.2	3.0 b	1.5 a	緑
美笹	74.7 a	13.9	3.1 a	1.6 a	緑
紀州さや2号	71.4 b	14.2	2.8 c	1.3 b	緑

調査日：2010年12月21日

収穫適期に達した莢で、莢長が55mm以上の莢を調査した

<sup>z</sup>異なるアルファベット間にTukeyの多重検定において5%水準で有意差あり

注) 耕種概要は表1と同じ

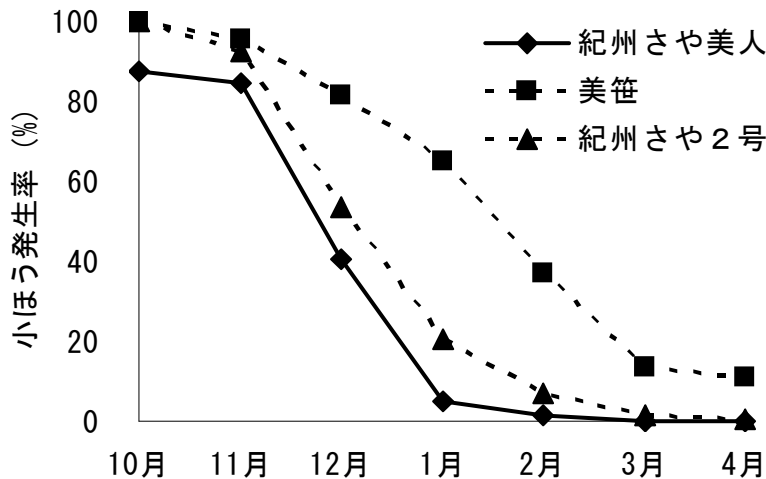


図2 「紀州さや美人」の月別小ほう発生率の推移

注) 耕種概要は表1と同じ

[その他]

研究課題名：特産花き・野菜のオリジナル品種育成

予算区分：県単

研究期間：平成22～26年度

研究担当者：小谷泰之、小川大輔、宮本芳城

発表論文等：「紀州さや美人」品種登録出願番号；第25697号

小谷ら（2012）園芸学会春季大会にて発表予定

HP掲載の可否：可